

2021 年度全国自動車会議所永年勤続者表彰式

全国5会議所から
9名がリモート出席

コロナ禍により3年連続でオンライン開催

表彰式の最後に受彰者全員と関係者が記念撮影

日

本自動車会議所は3月4日、全国の自動車会議所職員を対象とした「2021年度全国自動車会議所永年勤続者表彰式」を開催した。当初は実開催で予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を勘案し、オンライン形式で行うこととなった。オンライン開催は3年連続。今回は、宮城、秋田、神奈川、静岡、愛知の全国5自動車会議所から受彰者9名全員がリモート出席した。

当会議所の内山田竹志会長もリモートで出席し、「20年近く長く勤められてきた皆さまは、『登録・検査』に関する業務や、『交通安全や環境への取り組み』などの地道な活動とともに、時には知事や行政に対する要望活動などを通して、自動車業界の発展に多大な貢献を果たしてこられました。また、コロナ禍が続く中、日々の業務、特にお客さまと直接接する業務をされており、大変ご苦労されているものと思いますが、これまでのご尽力に心より感謝申し上げます」と述べ、受彰者への感謝の気持ちを表した。

また、当会議所が昨年創立75周年を記念し創設した「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」に言及し、「地域の自動車業界の中で長く勤められてきた皆さまは、正に、この賞の創設の原点にいらっしゃる方々です。本日の機会に、私から皆さまには、改めて『ありがとう』の言葉をお伝えしたいと思います」と述べた。

その後、オンライン上で授与式が行われ、内山田会長が表彰状を読み上げ、各会議所の代表者や役員により授与された。これを受け、受彰者を代表し高崎仁美さん（愛知県自動車会議所）が、「今回の表彰をひとつの節目として、また新たな気持ちで業務



挨拶をする内山田会長

に励んでいきたいと思っています。私は入社して25年になりますが、これからの検査登録手続きでは、検査の手法や手数料等の支払い方法などが変更されていくことが周知されており、それに伴い私たちの業務も変化していくことと思われます。年々新しいことを覚えることが困難になってきていますが、今後も変化していく状況に対応しながら業務に精励していきたいと思っています」と謝辞を述べた。

その後、受彰者一人ひとりから感想や今後の抱負などが述べられ、受彰者全員と関係者らがオンライン画面上で記念撮影を行い、表彰式が終了した。

◇2021年度の受彰者は次の通り。順不同。

- ・高橋 有希子さん（宮城県自動車会議所）
- ・茜谷 健太さん（秋田県全自動車協会）
- ・本間 裕子さん（神奈川県自動車会議所）
- ・片桐 岳大さん（神奈川県自動車会議所）
- ・柏木 勇さん（神奈川県自動車会議所）
- ・梅川 亜弓さん（静岡県自動車会議所）
- ・鈴木 香織さん（静岡県自動車会議所）
- ・小川 英隆さん（愛知県自動車会議所）
- ・高崎 仁美さん（愛知県自動車会議所）



日本自動車会館「くるまプラザ」会議室（東京・港区）でオンラインによる表彰式を進行



オンライン上で行われた表彰状の授与。左は内山田会長、右は秋田県全自動車協会の茜谷健太さん



受表彰者を代表し謝辞を述べる愛知県自動車会議所の高崎仁美さん（中央）



感想や抱負などを述べる受表彰者の皆さん。上から宮城県、神奈川県、静岡県各会議所

全国16自動車会議所をオンラインで接続

第106回全国自動車会議所専務理事会開催

最近の事業活動および主要課題について意見交換



第106回全国自動車会議所専務理事会が2月17日に開催された。予定されていた東京での実開催はコロナ感染拡大の影響のためやむなく中止となった

が、全国16自動車会議所をオンライン接続し開催した。＝写真＝

会議は、日本自動車会議所の山岡正博専務理事の挨拶より始まり、続いて当会議所75周年を記念して創設された2021年度第1回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」の概要や選考結果、表彰式の模様などを畠山太作常務理事が報告した。さらに今年度の活動進捗状況について各担当から、引き続き来年度の事業計画・予算の原案が畠山常務理事から説明された。最後に、出席した専務理事等と懇談会を実施し、意見交換を行った。次回は宮城県において実開催とし、日本自動車会議所は今後とも全国自動車会議所との連携強化を図っていく。